

### ③採貝漁業

採貝漁業は、二枚貝のうち主にアサリを漁獲する漁業で、小型機船底びき網漁業、船びき網漁業と並んで本県の主要な漁業の一つです。

漁法は、使う漁具によって、腰マンガ、長柄マンガ、手掘り等に分類され、河口域や干潟の発達した三河湾の沿岸域が主要な漁場となっています。

#### 腰マンガ

「マンガ」と呼ぶ漁具を腰につないで、爪を砂に潜らせながら引いて、アサリを獲ります。



マンガの形状



#### 長柄マンガ

腰マンガでは届かない深い場所でアサリを漁獲する漁法で、船の上から使用します。柄の部分が3～5mあります。

#### 手掘り

岩場など腰マンガが使えない場所では、潮が引くのを待って、鉤かぎを使って潮干狩りのように手で掘ります。



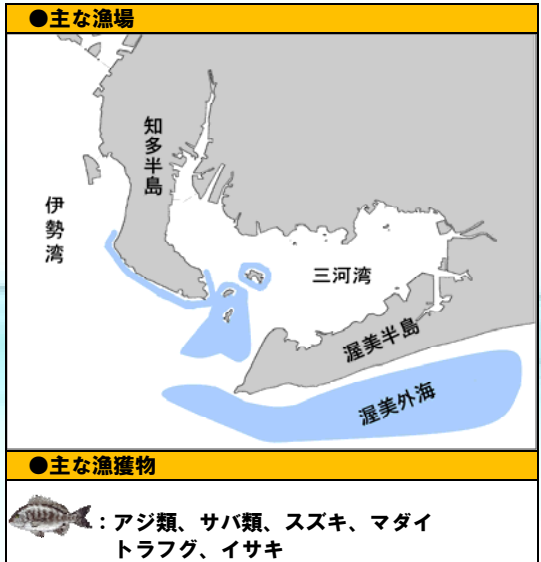
## ④釣漁業

知多半島南部では、魚類を対象とした釣漁業が盛んです。

一般の釣りのように竿は使わず、釣糸と釣針を用いて手で魚を釣る漁法が主体です。釣った魚のほとんどは生きたまま市場に出され、高値で取引されています。

また、秋季から冬季にかけては、一本のロープにたくさんの釣針を付けてトラフグを漁獲するはえ縄漁業が行われます。

これらの釣漁家は全体の9割以上が南知多町に集中しています。



### はえ縄漁業

トラフグを対象としたはえ縄漁業は、主に渥美外海で行われます。

漁獲されたトラフグは、活魚で県内を始め全国各地に出荷されています。

## ⑤さし網漁業

長方形の長い網を用いて、魚やエビ、カニなどを網にからませたり、刺させたりして漁獲する漁法です。

本県のさし網漁業は、漁具を潮流で流してキスやサワラ、クルマエビなどを獲るもの（源式網、きす流し網、さわら流し網）、漁具を海底に設置してクロダイやメバルなどを獲るもの（三枚網）、海底を引き回してキスを獲るもの（きすこぎさし網）があります。



### 源式網

網を潮流にのせて約1時間流した後、揚網し漁獲物を収容します。

源式網は1組約90mの網を四つつなげています。これは網の一部が破れても簡単に交換できるようにしているためです。